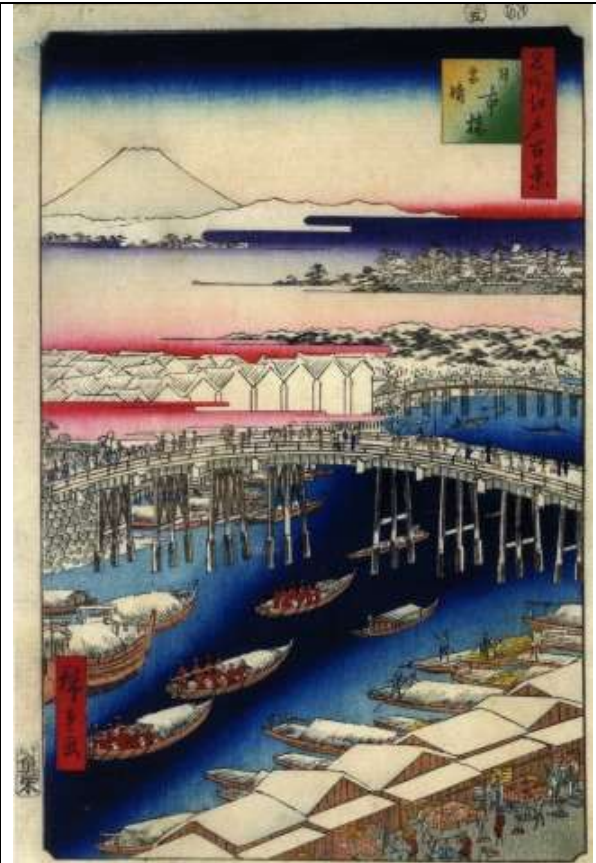


安藤広重の描いた橋 2

(PaintersBr07.pdf)



phrsg172



B004



phrsg001



002



004



005



006



007



B0003



phrsg172



173



174



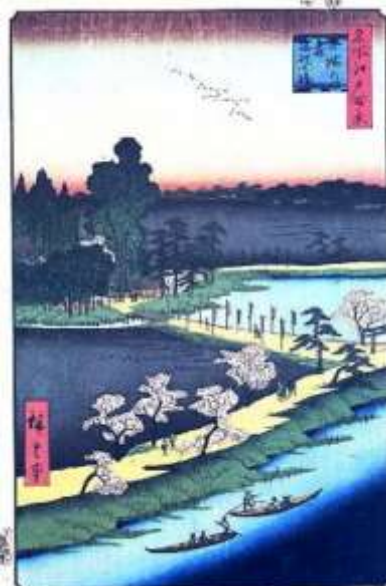
175



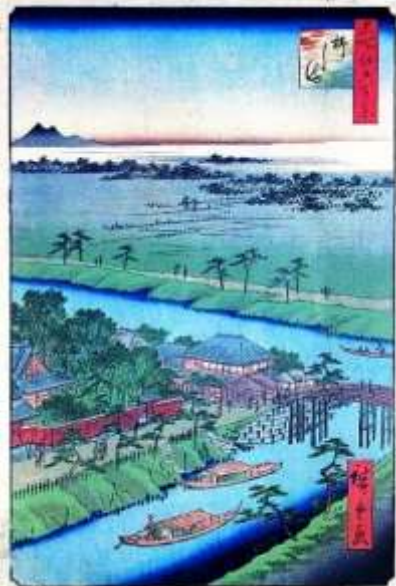
176



177



178



179



180



181



182



183



184 江戸百景、増上寺塔赤羽根



185



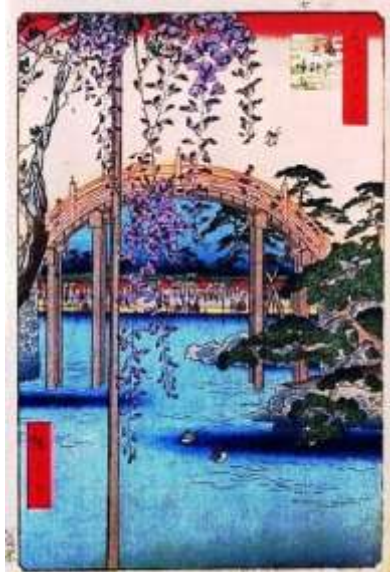
186



187



188



189



190



191



192



193



194



195



196



197



198



199



200



200' 名所江戸百景、两国花火



200' '



B007



201



202



203



204



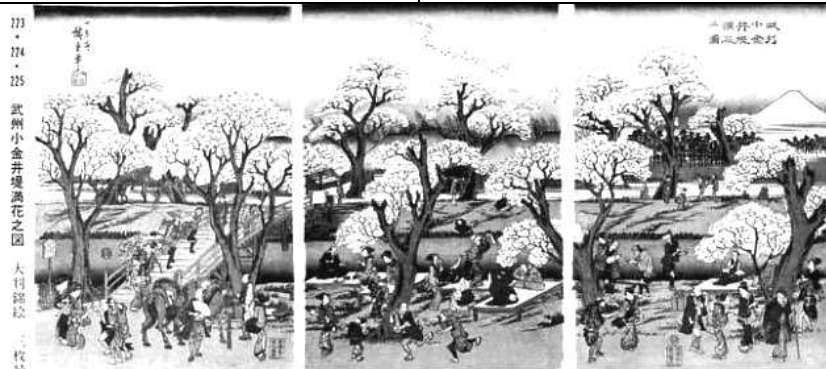
205



206



207

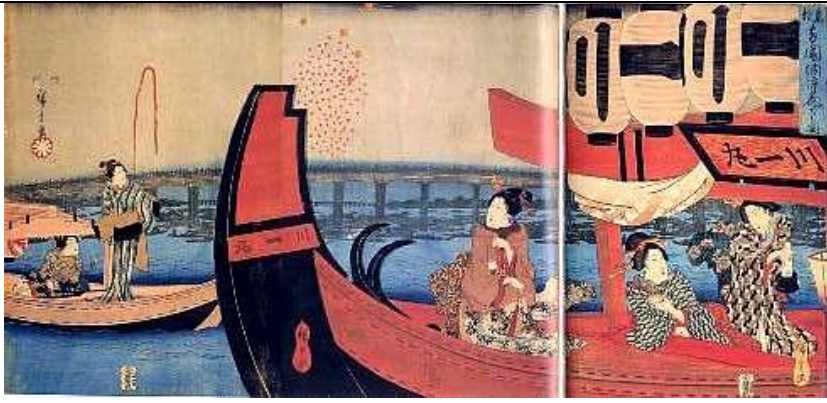


phrsg073



216 広重 / 四季江都名所・夏两国之月 中短冊判錦絵

072



170



171



209



4S264



131

安藤成重「甲斐道中記」より
 甲斐の山々遠くに連り山高くて谷深し緑川の流れ清麗なり
 十歩二十歩行く間に異なる絶景絶景に写しがたし
 秩穂の向茶屋(天更屋)にて中食、山をのまびたし千、家ならびたす
 ■正徳一の関所といわれる甲斐國邊の関所(この関所)は、
 ■関所は日本三大関所として、大層の難所に見せられてありませう。

天保十二年

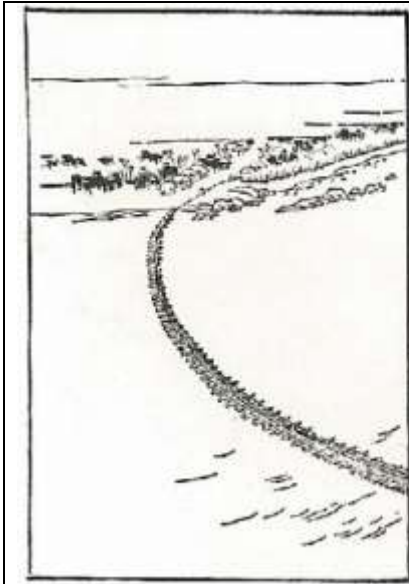


312

二代山本 関所六十八番 甲斐秩穂



0365



159



160



4s320